

夜間の交通安全に役立つ再帰反射材への消費者意識調査

○ 芦澤昌子* 岩戸純子* 潮見弘子* 野澤光代**

(*青葉学園短大 **聖ヶ丘教育福祉専門学校)

目的 交通安全の観点から、重大事故の発生の多い夜間においてはドライバーから歩行者が認められることが必要であり、自分の存在をアピールするものとして再帰反射材の使用が有効である。そこで再帰反射材の使用の実態の調査と再帰反射材に対する認識、さらに使用への意欲を調査した。

方法 再帰反射材の有効性の認識及び使用状況を若者、中年、高齢者の男女に区分してアンケート調査した。また、1998年12月から1月にかけて小学生、幼稚園児の登下校時に防寒コートの色と再帰反射材の使用状況を調査した。若者、中年、高齢者は街中の歩行者で調査した。調査は東京、千葉、神奈川等で行った。

結果 「再帰反射材の有効性」を認識している割合は高く、最も高いのは中年男性であり、車の運転により実感していることがうかがえた。「再帰反射材使用の実態」については若者、中年、高齢者ともに洋服や帽子などにつけられているものは非常に少なかったが、靴での使用が、若者、中年層で見られた。「今後、反射材をつけたいと思うか」の問いには高齢者が高く、若者は低かった。つけたいと思わない理由として、めんどくさい、かっこわるい、つけやすい素材が簡単に手に入らない等が挙げられている。反射材が使われている状況をみるとメーカーが取り付けて販売している靴、自転車などが多く用いられていることから、商品開発の段階で衣服のデザインの中に取り入れられるよう好感を持たれるデザインの提案をしていきたい。